病　院　だより　2019年11月号　第384号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　板橋 家頭夫
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

今秋の台風や大雨により、亡くなられたお方様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族様、関係者様へのお悔みを申し上げます。また、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。一日も早いご回復と復旧を心よりお祈り申し上げます。

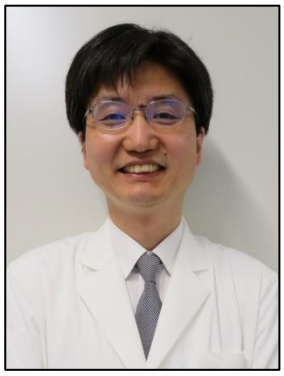
巻頭言　放射線治療センターを開設いたしました

10月1日（火）、増築した昭和大学病院中央棟地下1階部分に、新たに放射線治療センターを開設し、同日には開設を記念して、オープニングセレモニーを開催いたしました。オープニングセレモニーの実施後、準備を整え、15日（火）より診療を開始しております。

昨今の日本では、高齢化社会の進行に伴い、放射線治療の適応となるがん患者さんの数も増加傾向にあります。放射線治療センターでは、さらなるがん患者さんのニーズに応えるため、最新の放射線治療機器（高精度放射線治療機器：トモセラピー）を導入しました。今後も段階的に、リニアック※を導入し、さらなる放射線治療の体制を拡充していく予定です。

（※リニアック＝「直線加速器」。X線や電子線を発生させ、がんの治療に使われる放射線治療機器。）

放射線治療センターは、放射線治療科の伊藤芳紀教授をセンター長として、放射線治療科医師や、診療放射線技師、医学物理士、看護師とともに、多職種一体となってチーム医療を実践し、臓器の機能・形態を維持したい、というがん患者さんの希望に応えられるよう、治療にあたってまいります。



放射線治療センター長
放射線治療科　診療科長
伊藤芳紀　教授

今回導入した放射線治療機器（トモセラピー）

救急医療センターの体制について

2019 年 4 月の組織変更により、以前あった「総合診療科」が現在は、なくなっております。

✕ **総合診療科**

「総合診療科」への紹介状をお持ちの患者さんに関しては、内容を確認の上、各診療科へ振り分けをいたしますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

現在では、1 次・2 次救急を専門に扱う診療科として「救急診療科」が新設となっております。
また、「救急医学科」としていた診療科が、3 次救急を専門に扱う診療科としての役割を、より明確化するために「救命救急科」に名称が変更となりました。

○ **救急診療科**

救急医学科 → **救命救急科**

当院としては、「救急診療科」と「救命救急科」の医師や各診療科から派遣された医師と連携して、『救命救急センター（3次）』と『救急センター（ＥＲ）』を運用し、救急医療にあたっております。

救命救急センターについて

品川区唯一の救命救急センターとして３次救急として搬送された患者さんや、地域医療機関から紹介された重症患者さんを中心に、高度な救急集中治療を提供しております。地域で発生したすべての重症病態や緊急病態に対して各専門診療科と協力して対応しております。2018 年における救急車の搬送台数は 1,200 台以上（3 次救急のみ）で、応需率は 95%を超えております。

救命救急センター長
救急センター（ER）長
土肥謙二

救急センター(ER)について

救急センター（ER）は、診療時間内においては中等症救急患者、夜間休日では軽症から中等症の救急患者の初療を行い、入院の適否や専門診療の必要性を判断して院内の専門診療科や、地域の他医療機関への連携を行います。内科系急性疾患と外傷の診療を中心に、直近の救急車応需率は 2 次救急のみで 95%を超えております。

開催報告　クリニカルセミナーを開催いたしました

10 月 19 日（土）にシェラトン都ホテル東京にて、第 34 回昭和大学クリニカルセミナーが開催されました。当日は、多くの医療機関の皆様（250 名）、当院医師（173 名）にご出席いただきました。

まず、下記の通り講演会が行われました。

【２０１９年度新任教授の紹介】

呼吸器外科　武井秀史、腎臓内科　本田浩一、
糖尿病・代謝・内分泌内科　山岸昌一、
放射線科　扇谷芳光、放射線治療科　伊藤芳紀、
緩和医療科　岡本健一郎、麻酔科　大江克憲、
集中治療科　小谷透

（講演会の様子）

【講演】

1）『最新トピックス』

・「肺がんの外科治療」呼吸器外科　教授　武井秀史

・「心臓カテーテル治療の進歩と昭和大学病院の取り組み」循環器内科　教授　新家　俊郎

・「昭和大学での脳血管内治療　開頭術とのハイブリッド路線にて」脳神経外科　助教　奥村　浩隆

2）『健康寿命延伸を目指した糖尿病治療』糖尿病・代謝・内分泌内科　教授　山岸　昌一

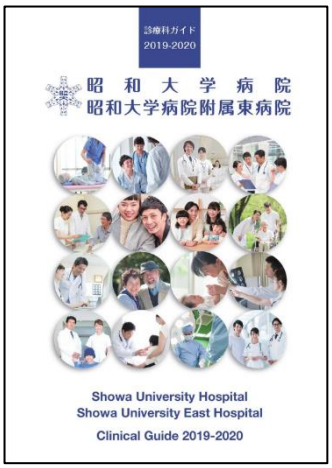
3）『アルツハイマー型認知症の診断と治療』脳神経内科　教授 小野 賢二郎

講演会終了後の懇親会では、日頃よりご紹介いただいている連携医療機関の先生方と当院医師が親睦を深められ、盛会のうちに終えることが出来ました。今後も地域医療の発展に努めてまいります。

お知らせ　2019 年度版診療科ガイドが完成いたしました

2019 年度版の昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院診療科ガイドが完成いたしました。各診療科・センターの特色をご紹介しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

今年度版より、インターネットでも閲覧が可能となっております。



ホームページのトップ画面から
下にスクロールしたところにある画像を
クリックしてください（下図内の赤枠）

QR コードでも
アクセス可能です

部署 PR コーナー　No.15「診療録管理室」

診療録管理室の業務を紹介します！

どのような仕事をしていますか？

診療情報管理士とは診療録（以下「カルテ」）や各種診療情報を保管・管理するとともに、それらを医療現場で利活用できるように従事している専門職種です。国家資格ではありませんが、四病院団体協議会および医療研修推進財団が共同で認定している資格になります。

現在、昭和大学病院では５名の診療情報管理士が診療録管理室に在籍しており、カルテの点検・監査、国際的に使われている傷病名コード（ICD-10）に基づくコード付番、カルテ開示、DPC 傷病名のチェックや調査データの作成、クリニカルパスの管理等、カルテに関連した多岐に渡る業務に携わっています。

＜診療録管理室の職員＞

意気込みや今後の方針をお願いします

2018 年１月１日より電子カルテが導入され、カルテの形態は大きく変わりましたが、診療記録の根幹が変わるわけではありません。カルテに記載されていることは「どんな診療をしたのか」と診療内容の根拠となるためとても重要です。日々の診療記録の点検・監査、管理者巡視や診療録監査チームの活動等を通じて、少しでも質の高い診療記録となるよう、整備に努めていきたいと思います。また、今後は病院機能評価の受審も控えておりますので、多職種の方と協力しながら準備を進めていく所存です。

お知らせ　医師の配属・異動・退職について

新規配属医師

【附属施設から】2019 年 11 月 1 日付
・小児科　高見堂正太郎（藤が丘病院小児科より）
【学外研修から】2019 年 11 月 1 日付
・心臓血管外科　堀川優
・消化器・一般外科　長石将大

異動

【附属施設へ】2019 年 10 月 31 日付
・呼吸器・アレルギー内科　眞鍋亮（江東豊洲病院内科へ）
【学外研修へ】2019 年 10 月 31 日付
・消化器・一般外科　井関貞仁

開催報告　医学部白衣授与式を開催いたしました

９月 27 日（金）、令和元年度医学部白衣授与式を上條記念館で執り行いました。

同式は、病院での臨床実習を目前に控えた医学部４年生が、倫理観や患者さんに対する思いやりの心を再認識して、医師を目指す者としての心構えを新たにする目的で実施しています。今年度は 107 名の４年生に向けて、医学部の教育職員より真新しい白衣が授与されました。

小川良雄医学部長は告辞で「本学医学部の７つの附属病院における少人数制の臨床実習教育は日本医学教育評価機構から高い評価を得ており、この恵まれた環境の中で、これまで学んできた知識や技術を駆使して臨床実習に全力で取り組んでほしい」と述べました。

病院内で実習中の学生をお見かけした際には、温かい目で見守ってくださいますようお願いいたします。

集合写真（医学部４年生）

白衣を授与される学生たち

お知らせ　昭和大学病院内の植栽を整備いたしました

昭和大学病院中央棟正面玄関前や入院棟１階部分にある、植栽を新たに整備いたしました。

特に入院棟 1 階ピロティ部分の植木の拡充や、遊歩道の設置を通して、付近を散策する患者さんや地域の方々が、少しでも明るい気持ちになれるように、と実施したものです。

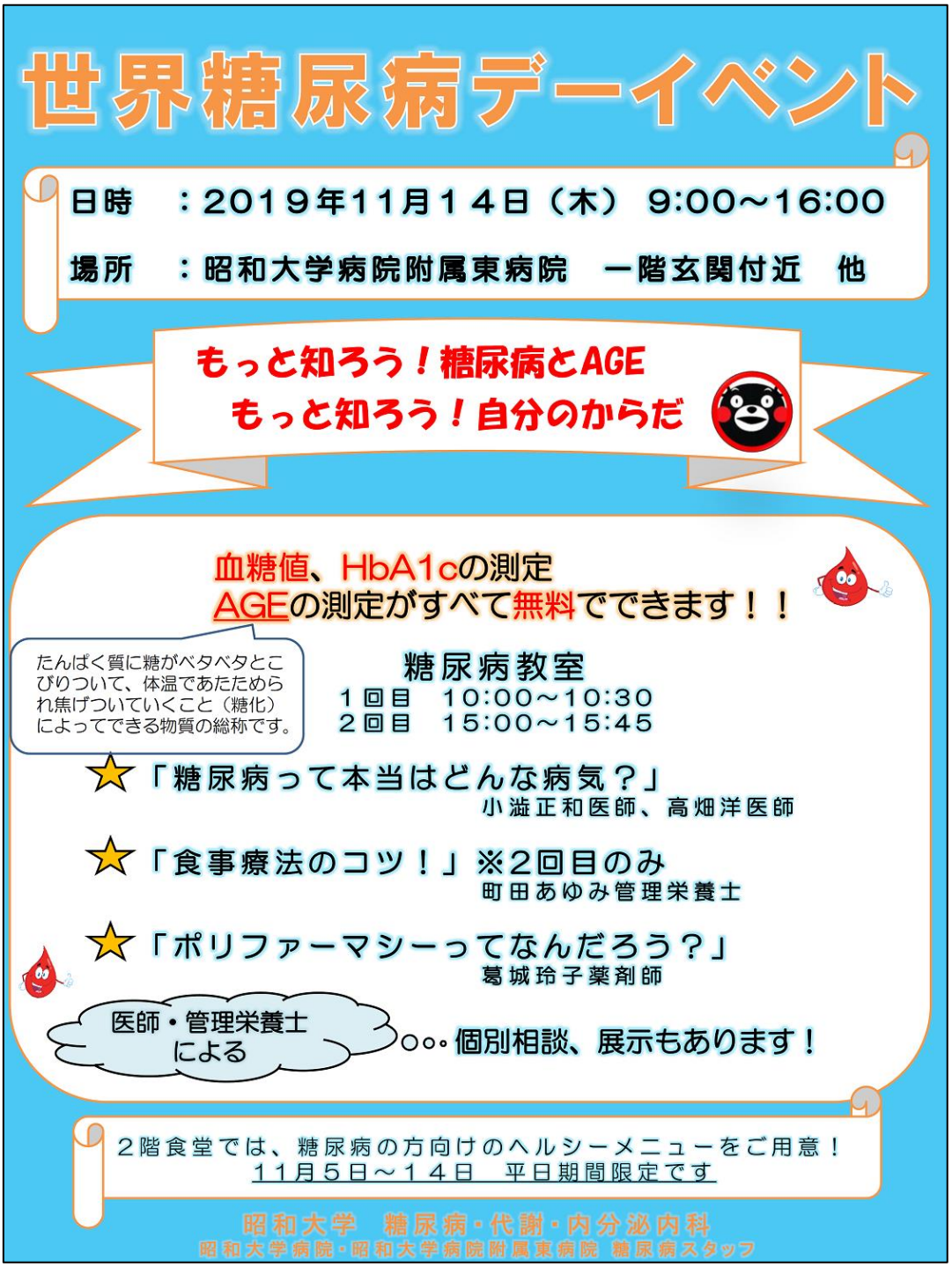
来院された際やお近くにいらした際には、ぜひともご覧下さい。

お知らせ　「世界糖尿病デー」イベント開催のお知らせ

11 月 14 日は『世界糖尿病デー』です。世界糖尿病デーは、世界的に拡大している糖尿病に対する注意喚起を目的に 2006 年に国連により設定されました。ちなみに 11 月 14 日は、1921 年にインスリンを発見したバンティング博士の誕生日にあたります。

この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、160 カ国 10 億人以上が参加する世界でも有数な疾患啓発の日となっており、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。当日は世界各地の名所をブルーにライトアップする行事などが行われています。

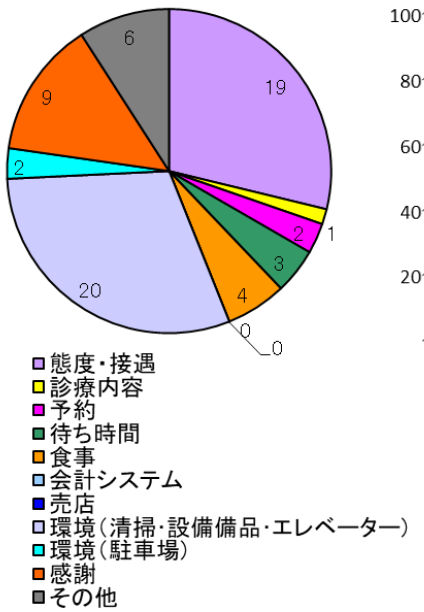
昭和大学病院附属東病院でも下記の通り、イベントを開催いたします。糖尿病に関する展示コーナーや、糖尿病専門医による相談コーナーもございますので、ぜひご参加ください。

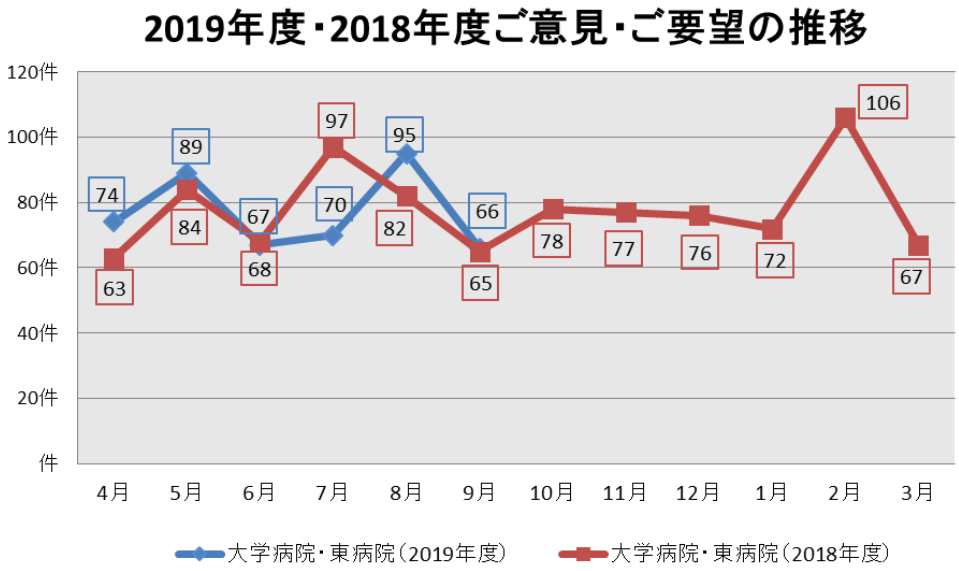


患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
腫瘍内科に受診しています。毎回、主治医との診察の前に看護師さんとの事前問診を受けていますが、とても良い制度だと思います。 事前に相談できること、細かなこともお伝えできることが主治医との診察時間の短縮に繋がっていると思います。 この制度はぜひ続けて頂きたいです。	貴重なご意見を誠にありがとうございます。 昭和大学病院腫瘍センターには、がん看護に精通した看護師も在籍しており、抗がん剤治療を行う患者さんに対して、医師の診察の前に問診やバイタルサインの測定などを行っております。多職種から問診させて頂くことで、患者さんの体調や状況を細かく聴取することができ、副作用のマネジメントも安心して行えると考えております。 昭和大学病院は医師だけでなく看護師や薬剤師が密接に関わりあいながらチーム医療を実践することを目指しております。がん医療においても大事なことですので、今後も看護師による問診制度を継続していくと共に、より良い医療を提供できるようチーム医療を実践してまいります。	腫瘍内科
1 階の検査説明の看護師がガムのようなものを食べていました。 窓口にて食べてよいのでしょうか。	この度は貴重なご意見をありがとうございました。ガムを噛んでいたことの確認は取れませんでしたが、マスクをした上でのど飴をなめていたことの確認が取れました。季節柄、水分補給等は勤務中でも可能にしていますが、患者さんの前での飲水などは禁止しております。 ご意見を頂きありがとうございます。職員への再指導をいたしました。	看護部

2019年11月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
66件





イベント情報　院内コンサートについて

昭和大学病院
第９６回院内コンサート

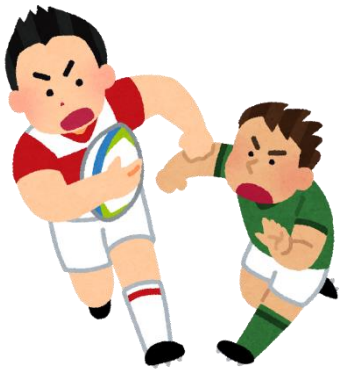
日時：２０１９年１１月３０日（土）１７：００～１７：４５

場所：昭和大学病院　中央棟１階ロビー

出演：昭和大学管弦楽団

編集後記　乳腺外科　教授　中村清吾（なかむらせいご）

本年日本で開催されたラグビーのワールドカップにて、大躍進を遂げた日本代表のスローガンは、「One Team」であった。「あうん」の呼吸で可憐なパス回しをする様や、相手の圧力を微動だにせず跳ね返すスクラムは、ハードな練習の賜物であり、チーム医療をモットーとする昭和大学病院にとっても、多々参考とすべき点があった。「One for All, All for One」も有名なスローガンであるが、それぞれの職種の人たちがプロ意識をもって集まってこそ、チームの力は強くなることを俄かファンの私にも大いに実感させられた。



昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

病院広報委員会委員：　稲垣 克記、大嶽 浩司、岡崎 靖子、五藤 哲、佐藤 久弥、嶋村 弘史、鈴木 隆、鷲見 賢司、富田 英、中村 清吾、樋口 恵子、水庭 隆史、山岸 昌一、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡（50 音順）